

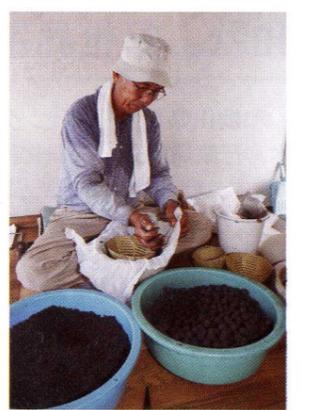


熊野大花火

熊野の夏 といえば??

熊野大花火大会! 8月17日[金]開催!!

平成23年度熊野古道フォトコンテスト最優秀賞 杉本光朗さん「七里御浜に響く」



鬼ヶ城の仕掛け

世界遺産登録されている鬼ヶ城、七里御浜と雄大な熊野灘の大自然を舞台に、見るだけでなく体感できる花火はこの熊野大花火大会だけ!熊野の歴史と自然、文化に人の力が合わさった花火をぜひ一度ご堪能ください!

問い合わせ 熊野市観光協会
 三重県熊野市井戸町653-12
 TEL:0597-89-0100



平成21年度熊野古道フォトコンテスト最優秀賞 杉本光朗さん「獅子も見とれる」



熊野古道から
 のてがみ
 23 通目

熊野古道伊勢路を一人で歩いて踏破しよう!と思いましたが、古の参詣者の気分を味わうには一人て歩くほうがよい、と思っただけです。伊勢神宮の内宮から歩き始め、和歌山県新宮市の熊野速玉大社まで歩き通す伊勢路踏破ウォーク。本来ならば、一週間くらいかけて宿泊しながら歩き通したいところですが、私は日帰りで小刻みに歩き繋ぎ、年月をかけたマイペースでゆっくり踏破しました。踏破中は毎回、続きを歩く楽しみが心の中であり、わくわくする楽しい時間でした。踏破達成の時、熊野速玉大社の境内に入った時はもちろん至福の境地でした。「ついにやったぞ!歩いたぞ!」という充実感の後、これは古の人々にとっても、参詣の為だけの旅ではなく観光旅行でもあったはずだ、という印象が残りました。



ツツラト峠からの眺め

伊勢の内陸の静かで穏やかな空気が、紀州の海辺の明るいくど湿気がたちこめ、どこかに恐さを秘めた深淵な空気に変わります。荷坂峠も同じです。伊勢の神と熊野の神、二つの神の国にまたがる旅のドラマが、熊野の神域の予兆に胸が騒ぐ風景がそこにあるのです。

熊野古道ウォークには、伊勢から南へと歩き続けるうちに風景が変わり、風土が変わっていくのを肌で感じながら、熊野の聖地に近づくと喜びがあります。それを顕著に感じる場所は、やはりツツラト峠です。ツツラト峠に辿りつく時は、

筆リレー
 次は紀北町の樋口 義也さん



よしだ ふじ 吉田 不二さん (大台町) 熊野古道語り部友の会会員、宮川流域案内人、友山会会員

花尻 薫からの季節のたより No.23



野原や山裾などに生えるので「ノブドウ」と名を付けられました。夏に花をつけて、実がなります。実は、はじめ白・やがて紫になり、青色になりますが、虫が皮をかんだり実の中に入ったりしますので、とてもまずくて食べられません。奥山やブナの生える深い山に生える「ヤマブドウ」は黒く熟すると食べられます。ノブドウもヤマブドウも日本生まれですが、栽培されているブドウの原産地はカスピ海沿岸から、トルコにかけての地域と考えられています。日本の弥生時代にはすでに各種のブドウが栽培されていたようです。ブドウの仲間をつる性で、天に向かって速く伸び太陽の光を求めて生存競争をしているのです。植物たちは先を争います。遅れると他の植物に追い抜かれて、太陽の光を受けられません。

「ノブドウは食べられません」

極端な場合は日陰の中で成長が止まって、枯れてしまうのです。道端を歩いてみると、大きな岩や木の根っこに、からみつくようにして横に広がっているノブドウを見かけます。つる植物でも、体力が無いと上に向かって伸びることが出来ません。そこで、少しでも体力をつけて次の行動に備えているのです。動物は生存競争が激しく、生きる力を備えるため色々の工夫をしながら生きています。例えば、虫が自然に近い色をして敵をくらましたりします。植物界でも生存競争のために様々な生活能力を備え、生きるために長い年月を経てその手段を講じてきました。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
 尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もカカホカです。

営業時間: 9:00~21:00 (ラストオーダー20:30)

★熊野古道センターニュースレター★
 “熊野古道センターからのてがみ” 2012年夏号

●発行日: 2012年6月20日(季刊)
 ●編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
 ●編集担当: 堀内
 ●連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com HP http://www.kumanokodocenter.com/

●開館時間: 午前9時~午後5時
 ●入場料: 無料
 ●休館日: 12月31日、1月1日 (その他メンテナンス時休館)

●お車で越しの方は...
 国道42号線で尾鷲市内→矢ノ浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車で越しの方は...
 ■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅前」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
 ■松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)

60000120620SH

夏の熊野古道歩きの注意点

～動植物編～

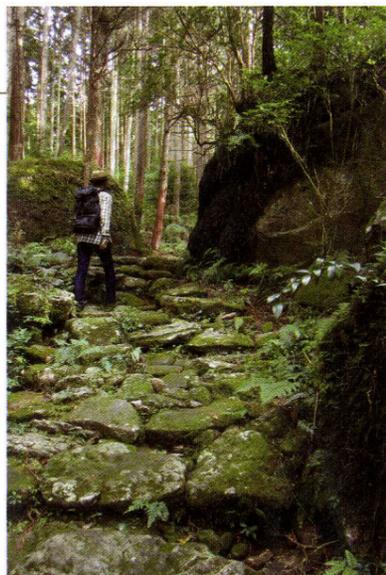
夏の熊野古道を歩く時に、どのような注意が必要かを紹介します。

動物では、特にマムシとスズメバチに注意が必要です。マムシは湿った場所を好むため、沢沿いなどの通行には十分注意してください。また、スズメバチは近寄ってきたら、手で払ったり、逃げたりしないで、ゆっくりその場を離れてください。

植物に対しては、かぶれる樹木のハゼノキやマウルシには要注意。体質によっては近寄っただけでもかゆくなります。

わからない植物には不用意に触れないようにしたいものです。

「道からはずれない」「服装は長ズボンをはく」という山歩きに対する基本的なことを守ることによって、安全に楽しい熊野古道歩きができるのではないのでしょうか。



危険!!

東紀州「夏のうまいもの」紹介 ちゃんぽこ



皆さんは「ちゃんぽこ」をご存知ですか?東紀州地域で暮らす人は、子どもの頃に磯遊びでちゃんぽこ狩りに行った思い出があるのではないのでしょうか?

クボガイやアサガイ、イシダタミなど小型の巻貝のことを総称して、「ちゃんぽこ」や「磯もん」、「ガンガラ」といいます。

5月～8月が旬で塩茹でして食べ、地元の宴会などでは酒やビールのつまみによく出されます。爪楊枝を使って、最後まで残らずに取り出して全部食べたいと思うほど、ワタの旨みが何となくたまります!

貝を上手に取り出すコツは、爪楊枝を回さずに貝を回して取り出すことです。

是非とも味わっていただきたい夏のうまいもの。東紀州地域の魚店やスーパーなどで気軽に購入できます!



和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

和歌山県世界遺産センターは、仮事務所を「田辺市本宮行政局」3階から1階に移して日常業務を執り行っています。当センターの事業として、世界遺産の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう、世界遺産セミナーを右記の通り開催いたします。世界遺産に興味・関心のある方のご参加をお待ちしています。

平成24年度世界遺産セミナー(予定)

- 5月27日(日)「世界遺産 平泉」於[田辺市 たなべる]
- 7月29日(日)「四国遍路」於[九度山町 紙遊苑]
- 9月30日(日)「鞆の浦」於[白浜町]
- 11月18日(日)「熊野の森」於[那智勝浦町]

また、災害復旧後、「参詣道修復活動」道普請をCSR活動として取り組んでいただく企業や道普請ウォークを申し込まれる一般の方が増えてきました。当センターが行う道普請は15名前後からの申込みが基本になっています。土代は参加者のご負担になりますが、多くの方々に道普請への参加をしていただければ幸いです。

熊野古道(中辺路)情報...中辺路(滝尻王子～熊野本宮大社)まで開通

昨年9月の台風により通行止めになっていた小広峠から船玉神社間に迂回路が設けられ、現在、滝尻王子から熊野本宮大社まで歩くことができます。

10万人の参詣道「環境保全」活動

和歌山県では文化財保護専門家による指導のもと、参詣道の保全活動(道普請・清掃・景観保全等)を推進しています。今年度も多くの皆さまに参加していただいています。



道普請前



道普請後

イベント情報 Event Info.

企画展 川廷昌弘 写真展 「熊野古道に添う営み 人工林の美、林業の現場。」

「熊野古道だから美しいのではなく、人工林を抜けるから美しい」と、熊野古道の人工林の美を訴える写真家・川廷昌弘さんの写真展です。林業の現場や熊野古道を訪れ、三年間かけて撮影した写真約60点を展示し、地域の大切な資産や守りたい風景、記憶の風景などを紹介します。

期間:～平成24年7月1日(日)
午前9時～午後5時 会期中無休
入場料:無料
場所:企画展示室



写真展の様子

夏休み企画展 「熊野の生きもの～黒潮が育む生物多様性」

熊野地方は温暖な気候と豊富な降水量を背景に多様な生物が見られます。さらに沿岸部地域から紀伊山地の山地地域まで標高差があり、その標高に応じた多くの生態系が存在します。これらの生態系に見られる様々な動物や植物にスポットをあて、はく製や実物、標本、映像などで紹介します。

期間:平成24年7月14日(土)～平成24年9月9日(日)
午前9時～午後5時 会期中無休
入場料:無料
場所:企画展示室



付属企画 夏休み子ども科学教室 「生物の不思議な世界をのぞいてみよう」

植物の細胞、昆虫の複眼、チョウの翅、シダの胞子など肉眼では見えない不思議な世界をのぞいてみます。さらに、観察した対象物をスケッチします。

◇日時:平成24年8月5日(日)
午前10時～11時30分
◇参加料:100円
◇対象:小学生、中学生
◇定員:20名(要申込・先着順)
◇場所:熊野古道センター体験学習室
または映像ホール
◇講師:熊野古道センター職員

体験学習

7/15(日)「東紀州の四季を味わう料理教室～磯の香りサザエと牛乳料理～」

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。食材に、地元で獲れるサザエと大内山牛乳を使用します。東紀州の磯を味わってみませんか?
◇時間:午前10時～午後1時
◇参加料:2,000円
◇定員:24名(要申込) *応募者多数の場合は抽選
◇場所:体験学習室
◇講師:村林新吾氏(相可高校食物調理科教諭)
◇受付:6月15日(金)～7月3日(火)午後5時まで



料理教室の様子

月別ひのきアート教室

地元の特産品である尾鷲ヒノキからできる魔法の素材・ひのきシートを使ってのものづくり教室です。
◇日時:6月24日(日) たわし、敷物
7月29日(日) モビール
9月30日(日)、10月28日(日) あかり *連続講座です
◇参加料:各1,000円
◇定員:各10名(要申込)
◇場所:体験学習室
◇講師:NPO法人海虹路会員



毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室

事前申込不要!!来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。
◇時間:午後1時～3時受付
◇参加料:200円～1,500円(申込不要)
◇場所:交流棟ロビー
◇講師:NPO法人海虹路会員、川端一氏、(週替わり) 大形弥生氏、畑中昇氏



交流イベント

6/26(火) 新宿トラッドジャズフェスティバル

ソウル・フード・カフェ ジャズコンサートin熊野古道センター
2007年から毎年、紀北町～熊野市で開催していることで馴染みの「新宿トラッドジャズフェスティバル」に出演する『ソウル・フード・カフェ』によるジャズコンサートを開催します。
本格的なジャズと大迫力のステージをお楽しみください。
◇時間:開場 午後6時、開演 午後6時30分
◇参加料:500円(チケット発売中:6月9日(土)午前9時～)
◇定員:200名(自由席)
◇場所:交流棟大ホール
◇出演:ソウル・フード・カフェ/古川奈都子さん(キーボード)、海付豊さん(サクソフーン)、永田充康さん(ドラム)、磯崎文さん(ベース)、加藤多美恵さん(ボーカル)
◇主催:三重県立熊野古道センター ◇協力:NPO法人 悠遊くかん木海香の里

*コンサート収益金の一部は、昨年9月の台風12号によって大きな被害を受けた紀宝町の復興支援の募金として取組んでいただきます。

新しい古道の歩き方

7/22(日)「天空の里・育生町を歩く」

森林と清流、「大丹倉」などの巨岩に囲まれた山里の熊野市育生町の夏の緑の美しい風景と、そこで生活する温かい人々とふれ合えるウォークツアーです。
◇時間:午前9時～午後3時
◇参加料:2,000円(昼食・保険・資料代を含む) ◇講師:有木保氏(育生町粉所区長)
◇定員:20名(要申込・先着順) ◇備考:荒天中止
◇場所:熊野市育生町



*写真・イラストはイメージです。